32th

MACS コロキウム

2026 年度 MACS スタディグループ 学生説明会

2026 年 4 月 17 日 (金)
14:45 ～ 18:00
場所：理学研究科セミナーハウス (対面のみ)

14:45～　ティータイムディスカッション

15:00～　第 32 回 MACS コロキウム

「質量の起源を探る」　冨田 夏希 准教授
(京都大学理学研究科附属サイエンス連携探索センター)

16:15～　2026 年度 MACS 学生説明会
スタディグループ (SG) の代表教員・参加教員による企画説明

- データ同化の数理と応用：理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
  坂上 貴之（数学・数理解析専攻）
- 物理と生物をつなぐ
  佐々 真一（物理学・宇宙物理学専攻）
- 生命のダイナミクス : 本物を観て (観察) 考える (数理)
  稲葉 真史（生物科学専攻）
- 宇宙医学：宇宙滞在時における生理学・医学的観点からの考察
  寺田 昌弘（サイエンス連携探索センター）
- 理化学研究所と京大 MACS で築く数理交流プラットフォーム
  石川 勲（サイエンス連携探索センター)
- 海辺に数理をみつけだす
  小山 時隆（生物科学専攻）
- 科学技術をめぐる倫理的・法的・社会的課題（ELSI）
  清水 雄也（サイエンス連携探索センター）
- 植物を測る・育てる・読み解く：バイオインフォマティクス × 光測定 × 数理解析による協働
  鍛冶 静雄（サイエンス連携探索センター)
- XR で見る・3D で触る先端科学
  稲生 啓行（数学・数理解析専攻）
- みんなで学ぶ数理物理
  濱口 雄史（数学・数理解析専攻）
- 耐量子暗号と量子計算
  森前 智行（基礎物理学研究所・理学研究科協力講座教員）
- 外れ値でみる理学
  宮路 智行（数学・数理解析専攻）
- 誰も見たことのないものを見るための技術
  冨田 夏希（サイエンス連携探索センター）
- カオスから法則へ：アンサンブルシミュレーションを用いた自然現象の構造理解
  呉 品穎（サイエンス連携探索センター）

注）SG は主に理学部・理学研究科の学生を対象としています。それ以外の学生の登録も歓迎しますが、参加希望者多数の場合は、調整を行うことがあります。

17:30～　継続討論会
（コロキウム講演者・SG 参加教員との自由な情報交換）

各 SG の情報は右記 QR code から得ることができます。

「質量の起源を探る」　冨田 夏希 准教授

私たちの身の回りの物質の質量の 99% は原子核を構成する陽子・中性子の質量によるものですが、この陽子・中性子の質量がどこから来ているかは未解明の問題です。本講演では日本の大型加速器施設 J-PARC で準備中の、陽子の質量起源を探る実験およびそのための測定器開発についてお話しします。またこれまで加速器実験用に開発してきた測定器の地球物理等への分野を横断した活用や開発についてもお話しします。

●備考
◎本コロキウムは理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学・理化学研究所に在籍されている方はどなたでもご参加いただけます。事前の登録は不要です。

◎問い合わせ先：macs ＊ sci.kyoto-u.ac.jp
（＊を @ に変えてください）

理化学研究所 数理創造プログラム（iTHEMS）協賛
iTHEMS RIKEN interdisciplinary Theoretical & Mathematical Sciences
SCIENCE KYOTO U
MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム
macs京大 検索